

相 双 「食」と「ふるさと」 新生運動ニュース

No.22 令和元年5月
福島県相双農林事務所



原町東地区（南相馬市）の菜の花めいろ

大波所長 着任あいさつ

相双地方の皆様、今春4月に福島県相双農林事務所長に着任いたしました大波恒昭と申します。伊達市霊山町出身です。相双地方はもとより浜通りの勤務は初めてでありますので、何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

着任早々、管内を巡回しましたが、相馬地方は震災前の営農状況が戻ってきておりますが、双葉地方はようやくスタートに立ったところが多いと感じました。

改めて、「令和元年」、所員全員はもとより、農林業者をはじめ多くの関係者の皆様と力を合わせながら、当地方の農林業の復興に向けて与えられた任務を遂行してまいり所存であります。



〈大波恒昭相双農林事務所長〉

令和元年度、当事務所の主たる組織目標は次のとおりです。

- ①避難地域における本格的な営農再開に向けた取組強化
- ②津波被災等からの農林地、農林業施設の着実な復旧
- ③森林の再生と林業・木材産業の復興
- ④農林水産分野イノベーションプロジェクトの推進
- ⑤冬季温暖な当地方の気象条件を活かした園芸産地等の振興
- ⑥地域産業6次化等による地産地消の推進と風評払拭への取組

特に、震災から9年目となり、当地方ではこれまで見られなかった作物の導入など新たな営農の姿が出てきておりますが、一方では、震災前まで営々と培ってきた葉もの野菜や畜産団地、さらには有機栽培など、当地方ならではの卓越した技にもう一度着目し、産地振興に向けた取組に力を入れていくことが重要と考えております。

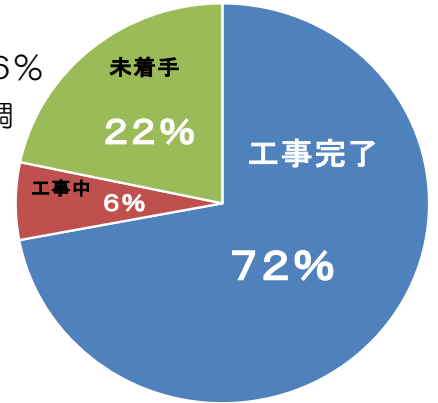
『相双地方の復興がすなわち福島県の復興である』と肝に銘じて、全国からの応援職員等も含めて総勢209名一丸となって、目標達成に向けて進んでまいりますので、本ニュース読者の皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



東日本大震災の災害復旧工事の進捗状況（H31.3月末）

東日本大震災で被害を受けた農地・農業用施設、農地海岸の災害復旧の取り組みについて、工事完了が72%（611ヶ所）、工事中が6%（53ヶ所）、未着手が22%（184ヶ所）となっており、概ね順調に工事が進んでいます。（右図参照）

農業の再生・復興のため、津波被災地等におけるほ場整備を10地区（1,474ha）で行っており、1,090ha（74%）の農地で営農が可能となりました。また、海岸災害復旧を16海岸（14,467m）で行っており、約99%の復旧整備が完了しています。



農用地災害復旧関連区画整理事業
作田前地区（新地町）【完了】

ほ場整備工事 竣工写真（令和元年5月撮影）



復興基盤総合整備事業 押釜地区（南相馬市）【完了】

ほ場整備工事 竣工写真（平成31年4月撮影）

（農村整備部）

楡葉町水稻育苗センターで作業が始まりました。

楡葉町上小埜地区に整備された楡葉町水稻育苗センターで播種作業が順調に行われました。この施設は福島再生加速化交付金（被災地域農業復興総合支援事業）を活用して町が整備し、JA福島さくらが運営しています。

対象面積は100haで、年間20,000箱を播種可能です。今年度は楡葉町の主力品種である「天のつば」等約11,000箱を播種しました。

震災で育苗ハウスを失った生産者が作付を再開しやすくなるほか、育苗に係る負担を軽減でき、生産者の規模拡大に繋がります。

育苗センターの運用が始まったことに加え、秋にはコントリーエレベーターが利用できるようになることから、町内の水稻作付面積は昨年度の34haから大きく増加し、目標の160haを大きく上回る見込みです。今後両施設は、楡葉町の水田の営農再開を大きく後押しするものとして期待されています。



水稻播種作業



田植えを待つ苗（双葉農業普及所）





飯舘村「畜産経営再開研修会」と「花き営農再開セミナー」を開催しました！

平成31年2月28日（木）、飯舘村交流センターふれ愛館にて、「畜産経営再開研修会」を開催しました。東日本大震災以前の飯舘村は県内有数の肉用牛産地であり、現在は産地の再生に向けて、着実な営農再開が進んでいます。この研修会には約30名の農家が参加され、県から安全な畜産物を生産するため営農再開に必要な取組について説明し、参加者の理解を深めました。参加者から、「まずは牛の頭数を震災前の半分まで回復したい。」等の活発な意見が交わされました。



畜産経営研修会

また、3月7日（木）には同館において、県内有数の花き産地であった飯舘村の花き生産戸数の増加、生産拡大を図るため開催した「花き営農再開セミナー」には、15名の農家が参加されました。このセミナーでは、花きの市場動向、営農再開に向けた準備やその支援策について説明し、講師の一人の市場関係者より「飯舘の花は品質が良い。」との高い評価をいただきました。参加者からは「栽培を始めるのに自信がついた。」「花きをぜひ出荷したい。」等の声が寄せられました。



花き営農再開セミナー

いずれも農家の再開への意欲喚起につながる有意義な研修会となりました。当事務所では、今後も飯舘村の畜産と花き産地の復興・再生・そして発展に向けて支援を行ってまいります。

（農業振興普及部）

『平成30年度そうそう・6次化ラボ事業取組報告会及び第2回そうそう・6次化ネットワーク交流会』を開催しました！

平成31年3月13日（水）に「そうそう・6次化ラボ」の活動報告及びそうそう・6次化ネットワーク交流会を開催しました。

「そうそう・6次化ラボ」は相双地区の生産者等を対象に6次化商品の試作品の加工やマーケティングの知識を学ぶ講義などを通し、相双地域の6次化の推進を図ることを目的として実施しました。当日は、そうそう6次化ラボの活動の中で考案された試作品を試食していただき、参加された方々からご好評をいただきました。



そうそう・6次化ラボ事業取組報告会

また、6次化ネットワーク交流会として、参加者と6次化の専門家の方との意見交換の時間を設けました。

当事務所では今年度も引き続き地域産業の6次化を推進してまいります。



考案された試作品 (企画部)





「田んぼの学校」 交流促進事業による田植え体験活動

令和元年5月10日（金）に、新地町立駒ヶ嶺小学校の5年生が地元農業者の八巻賢次さんの協力の下、田植えを体験しました。

当日は天候にも恵まれ、日が差す中、子どもたちは、最初は田んぼに入ることをためらう様子が見られたものの、徐々に田んぼに慣れてくると泥だらけになりながら、水田に苗をしっかりと植えました。



田植えをする子どもたち

今後は生き物調査や稲刈り、収穫祭を予定しています。

～田んぼの学校とは～

地域の未来を担う子供たちが農村地域を学びの場として活用し、豊かな感性と深い見識、農業・農村への興味関心を持った子供たちを育成することを目的とした総合的な環境教育の総称です。

農業体験や収穫した農産物を調理し食べることによって「食や命の大切さ」を学ぶほか、農地や水路・ため池等を利用して「農業・農村が持つ多面的機能の役割」を学ぶなど、年間を通して授業を実施する取組です。



こどもたちに指導する八巻氏（企画部）

木工教室を開催しました！

令和元年5月19日（日）、道の駅南相馬で開催された「環境・福祉の豊かな地域づくり事業「めざそう～和と話♪環と輪」」において、当事務所森林林業部が木工教室を出展しました。

道の駅南相馬に会場した市民の方々に、福島県産木材を実際に触れていただき、県産木材や木製品に理解を深めてもらうことを目的に、木製プランター作りに挑戦してもらいました。

午前の部で30セット、午後の部で30セットのプランターキットを準備しましたが、木工教室の人気は高く、キットはすぐに受付終了となってしまいました。参加者は当事務所職員や事業スタッフから部材の組立てや釘打ちの指導を受け、材料の硬さや節の有無による打込みの違いに驚きながらも、熱心に製作し、立派なプランターを完成させていました。

当事務所では、今後も多くの方々に福島県産木材に触れていただく機会を設け、木材の消費拡大に繋がってまいります。



木工教室ブース



プランター製作風景（森林林業部）





避難指示区域内における大規模火災対応訓練に参加しました！

令和元年5月23日(木)に富岡町で開催された避難指示区域内における大規模火災対応訓練に参加しました。福島県、双葉地方広域市町村圏組合消防本部が主催です。

当日は、県内消防本部はもとより、隣県の緊急消防援助隊、隣県防災航空隊、自衛隊及び関係機関で実施され、総計36機関330名が参加しました。

訓練は、避難指示区域内で火災が発生し、強風にあおられ延焼拡大したとの想定で実施され、災害対策本部では、ドローンが撮影したライブ映像を基に作戦を立案し、また、福島県、栃木県及び自衛隊



自衛隊ジェットシューター隊の訓練状況

のヘリコプターによる空中消火活動の連携訓練を行うなど新たな取り組みも導入されていました。

林業関係機関は、森林内の火災現場への案内及び鎮火後の被災面積計測の役割が与えられ、消防先遣隊とともに自衛隊のジェットシューター隊を案内しました。

避難指示区域では、消防団員を含む住民が避難しており、いったん火災が発生すると、大規模な火災に至る場合が想定されますので、火の取り扱いには十分な注意をよろしくお願いいたします。

(富岡林業指導所)

全国からの技術者支援について

農地・農業用施設の復旧や海岸防災林の造成など相双地域の復旧・復興のため、地方自治法に基づく派遣として、当事務所には平成23年11月以降30年度末までに29都道府県から延べ416名の職員の応援をいただいています。

今年度は、15府県から21名の支援をいただき、一日でも早い復旧・復興のために、事務所一丸となって業務に取り組んでいます。



福耕支援隊の皆様（農村整備部）

農村整備部：青森県、秋田県、栃木県、埼玉県、新潟県、長野県、静岡県、滋賀県、沖縄県から13名

森林林業部：群馬県、石川県、山梨県、京都府、長崎県、宮崎県から8名



平成30年度復興応援職員記念植樹式（森林林業部）

(総務部・農村整備部・森林林業部)



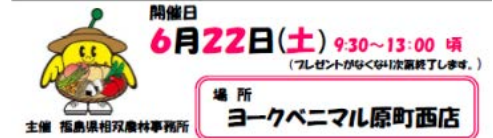


“おいしい ふくしま いただきます！” キャンペーンを開催します！

令和元年6月22日(土)に南相馬市のヨークベニマル原町西店において、県産農林水産物の風評払拭と販売促進を目的とした、“おいしい ふくしま いただきます！” キャンペーンを開催いたします。

このキャンペーンでは、安全対策に関するリーフレットを配布し県産農林水産物の安全性をPRするとともに、お客様の放射性物質検査への関心度合や県産農林水産物のイメージについてアンケート調査を行い店頭で配布したリーフレットを持参いただいたお客様先着700名の方に県産野菜をプレゼント！この機会に、安全・安心な県産野菜をご賞味ください。

開催日：令和元年6月22日(土)
 9：30から13：00頃
 (プレゼントがなくなり次第終了)
 場 所：ヨークベニマル原町西店



(企画部)

トピックス～道の駅ならは～

東日本大震災以降、双葉警察署の臨時庁舎として活用されるなどしてまいりましたが、平成31年4月25日に「道の駅ならは」が再開しました。

○榎葉町ならではの魅力

「道の駅ならは」では榎葉町ならではの地場商品を多数取り扱っています！

榎葉町産の酒米「夢の香」を使用し醸造した日本酒「榎葉の風」は、「榎葉町に良い風が吹くように」名付けられた日本酒で、やわらかい味が特徴です。

地元「ふたば未来学園」の生徒が開発に携わった「ゆずケーキ」や「ゆずサイダー」のゆずは榎葉町産のものを使用しています。



現在は週末を中心に地元農産物の販売を行っていますが、ゆくゆくは現在休館中の物産館を再開し、より多くの人に榎葉町の味覚を楽しんでいただきたいです。

「道の駅ならは」 渡邊駅長

○最後に…

現在は、一部再開ということもあり震災前よりも規模は小さいですが、今後は榎葉町の新特産品や地場野菜など、ここでしか味わうことのできない味覚が増えていくことでしょう。また、県内ではわずか3カ所しかない温泉のある大変珍しい道の駅です！皆様一度は足を運んでみてはいかがでしょうか！



福島県双葉郡榎葉町大字山田岡字大堤入22-1
 TEL：0240-26-1126





相双農林事務所からのお知らせ

◆そうそう・6次化ネットワーク会員募集中！！

自分で栽培した農産物を加工し、商品として売りたい生産者の皆様！地場産農産物を使って商品を作りたい加工・製造業者の皆様！そういった6次化商品を取り扱いたい流通・販売業者の皆様！あるいは「6次化って何？」というあなた！

そうそう・6次化ネットワークに加入してみませんか？そうそう・6次化ネットワークは、相双地域で6次化に取り組まれる事業者の方を応援する会員制の組織です。登録料や会費は無料です！！

会員特典

①事業者との交流

そうそう・6次化ネットワーク会員を対象に、会員同士の交流の場を設ける「交流会」を年2回程度開催しております。（講演会やセミナー、6次化商品の試食・求評会など。）

②6次化商品販売会の実施

道の駅や直売所、スーパーなどにおいて、6次化商品の販売会を複数回実施します。消費者への対面販売により、消費者の生の意見を聞くことができ、商品の改善に役立ちます。

③各種情報提供

ネットワーク会員向けに、商談会や物産展などの出展案内や各種助成制度など、事業者の皆様には有益な情報を随時提供しています。

④相談受付・支援

6次化に関する些細な相談から、こういう商品を作りたい、こんな加工ができる事業者を紹介してほしいなど、相談を随時受付しております。必要に応じて、専門家の現地派遣等の支援を行います。

少しでも興味のある方は是非ともご加入ください！！

申込・問い合わせ先：福島県相双農林事務所 企画部 地域産業6次化担当まで
電話（直通）0244-26-1153

表紙の写真について

1ページ目の原町東地区の写真は、津波により被災した農地をほ場整備事業により整備したものです。南相馬市のボランティア団体「復興浜団」が菜の花畑を利用した迷路を企画し、今春、11,000人の来場がありました。搾油したなたね油は「油菜ちゃん」の名称で販売されています。名称は相馬農業高校が考案しました。

主な販売先：セドッテかしま（福島県南相馬市鹿島区浮田字楡木沢 212-1）
Amazon、楽天市場など通販でも購入できます！



なたね油「油菜ちゃん」



福島県相双農林事務所 企画部 地域農林企画課
 〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 Tel : 0244-26-1153 Fax : 0244-26-1181
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36260a/>
 E-mail kikaku.af06@pref.fukushima.lg.jp

